

南極の技術－私たちの暮らしとのつながり

腹が減っては観測できぬ！

令和3年5月26日（水）～令和4年3月31日（木）

休館日 月・火曜日、国民の祝日、9/22（水）、11/24（水）

12/27（月）～令和4年/1/4（火）、1/12（水）

毎日の勉強や仕事を頑張るには美味しいごはんが欠かせません。

それは私たちも南極で暮らす観測隊員たちも同じです。

日本の南極観測が始まって60年以上が経ちます。

西堀榮三郎たち第一次越冬隊は、南極でどんなものを食べていたのでしょうか？

そして現在の観測隊員たちはどんなものを食べているのでしょうか？

畑はあるの？魚は釣れる？パンも焼いちゃう？アイスは作り放題？

意外と知らない南極の食事情を、この機会に知ってみませんか？

いったいなにを
焼いているの？？



この動き、この手つき…
お正月を迎えるためにやる
ことといえど？？



南極の食についての質問を募集します！

いただいた質問は南極観測経験者から回答をもらえるかも…？

詳しくは裏面をごらんください。

裏面へつづく▶

協力：大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所、南極 OB 会、森永乳業(株)市乳統括部マーケティンググループ

西堀榮三郎記念探検の殿堂

〒527-0135 滋賀県東近江市横溝町 419

【入館料】大人 300 円 小中学生 150 円

※東近江市民および障害者とその引率者は無料

【開館時間】10：00～18：00

（入館は17：30まで）



主催 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立極地研究所

共催：稚内市青少年科学館、つくばエキスポセンター、一般財団法人 WNI 気象文化創造センター

SHIRASE5002、多摩六都科学館、名古屋市科学館、西堀榮三郎記念探検の殿堂、出雲科学館、愛媛県総合科学博物館（いずれも南極・北極科学館連携機関）



（国立極地研究所提供）

令和3年7月31日（土）

14：45～15：45

昭和基地の紹介：20分、各館との交流：20分（予定）

会場 西堀榮三郎記念探検の殿堂 探究館

南極・昭和基地と中継をむすび、第62次観測隊員の様子を見ることができるイベントです。
気になる南極の疑問も聞けちゃうかも？！

※連携機関8か所あわせて質問を受けるため、全員の質問を受け付けられない場合があります。

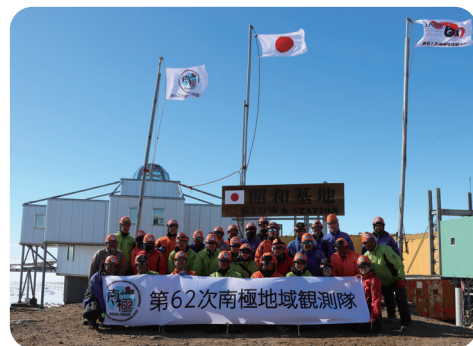
★定員★ 30名（要申込）

★申込★ 氏名、年齢（学年）、電話番号（抽選の結果を連絡します）をご連絡ください。

電話：0749-45-0011

ファックス：0749-45-3556

メール：tanken@city.higashiomori.lg.jp



（国立極地研究所提供）

★締切★ 7月10日（土） 正午

三二企画展関連企画



南極の食についての質問を募集します！



締切① 7月31日（土） 締切② 10月23日（土）

いただいた質問は元観測隊員に問い合わせ、展示で回答をご紹介します。

この用紙を探検の殿堂へお持ちいただくほか、電話・メール・ファックスでも募集しています。

氏名

年齢（学年）

☐ 市内 ☐ 市外 ☐ 県外

氏名・年齢の掲載について

☐ 掲載不可 ☐ 掲載可 ☐ 氏名のみ可 ☐ 年齢のみ可

南極の食について聞きたいこと